



令和4年2月10日

吉川市長 中原 恵人 様

吉川市総合振興計画審議会  
会長 石 阪 督 規

### 第6次吉川市総合振興計画について（答申）

令和3年9月14日付け政第276号により本審議会に諮問のありました第6次吉川市総合振興計画の前期基本計画（原案）につきまして、慎重に審議を重ねた結果、その内容は妥当であると認めます。

なお、本審議会の審議経過を踏まえ、下記事項に留意の上、本計画の推進に努められるよう要望します。

#### 記

##### 1 社会情勢に適応したまちづくり

高齢化やデジタル社会の進展をはじめ、今般の新型コロナウイルスなどの新たな感染症による社会情勢の変化にも、市民ニーズを把握しながら柔軟に対応できるよう努められたい。

##### 2 次世代を育むまちづくり

本計画では、前計画の児童福祉と母子保健、教育を合わせて「こども・学び部門」とし、若者支援も新たに加えられていることから、今後、部署を越えた横断的な取組のもと、次世代を育む各施策の効果が一層高まるよう、一人ひとりの主体性を尊重しながら積極的に取り組まられたい。

##### 3 多様性を認め合う共生のまちづくり

互いに多様性を認め合い、誰もが自分らしく暮らせる社会の実現に向けた取組や、地域社会とのつながりや支え合いの意識の醸成などの共生のまちづくりに向けた取組を、市民や関係する団体等と十分に連携しながら、積極的に展開されたい。

##### 4 持続可能なまちづくり

市街地と農地の調和が保たれた水と緑の豊かな吉川市の特色が将来につながるよう、農業振興や環境に配慮した取組の推進などを通して、持続可能なまちづくりに努められたい。

##### 5 協働のまちづくり

本計画の策定の趣旨に沿い、吉川市に関わる「みんな」で各施策を推進することができるよう、市民等の本計画への理解促進に向けた積極的な周知に努められたい。